

# 2022 鉄道安全報告書



2021年に運行開始15周年を迎えた特急「ゆけむり」

## 長野電鉄株式会社

この安全報告書は、2021年度（令和3年度）当社の鉄道における安全を確保する取組みや安全・安心に係る実績をまとめたものです。

# 安全報告書 目次

---

1. ごあいさつ	1
2. 輸送の安全に関する基本指針	2
安全方針	
安全行動規範	
3. 安全管理体制と安全マネジメント	2
安全管理体制	
安全マネジメント	
4. 令和3年度の安全計画への取組み	4
安全マネジメントの浸透及び理解度の向上	
ヒヤリ・ハット情報の活性化	
情報の伝達、コミュニケーションの活性化	
従事員の適性や健康の管理	
安全・安心な鉄道施設の更新と管理	
5. 安全目標の達成状況	9
鉄道運転事故等の発生状況	
列車運行を妨げる危険な行為等	
行政指導	
6. お客様の快適な輸送へ向けた取組み	13
新型コロナウイルス感染症対策	
サービス向上への取組み	
7. 地域に密着した親しみやすい駅を目指して	14
8. お客様・沿線の皆さまへのお願い	14
9. お客様からのご意見の募集	16

---

# 1 ごあいさつ

## 更なる安全を目指して

皆さまには日頃より長野電鉄をご利用いただきますとともに、ながでんグループにご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

また、沿線の皆さまには鉄道事業の運営にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「安全はすべてに優先する」との基本方針に基づき、令和3年度は、『当社による責任事故「0件」』、『インシデント「0件」』、『運輸局届出対象のヒューマンエラー「0件」』、『施設・車両による輸送障害、運輸局届出対象「0件」、届出対象外「前年度より削減」』、『接遇によるクレーム「前年度より削減」』を目標に掲げ、輸送の安全の確保に取り組んでまいりました。

その結果、有責事故、インシデントについては目標を達成しましたが、自社責任の輸送障害については、車両関係で2件、施設関係で1件と3件発生し、前年2件より増加する結果となりました。関係職場において事象の共有、発生原因及び背後要因の究明を行い、フィードバックを繰り返すことにより、再発防止に努めてまいります。

昨年は、他の鉄道会社におきまして、列車内での刺傷事件が2件発生しました。当社においても従事員への教育・訓練等を行うとともに、テロ対応マニュアルの見直しを行ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症については、いまだに収束の兆しが見えませんが、引き続き乗務員・駅員のマスク着用と手指消毒・手洗いの徹底、車両の換気及び消毒、券売機やエレベーターなど駅施設の消毒、駅改札口への飛沫防止スクリーンシートの設置と素手以外の方法による乗車券類の受渡しなどにより感染拡大防止策を実施することで、安心して利用できる環境づくりに努めております。

これからも、日頃から危険要素の排除に努め、安全意識を高く持ち、お客さまに安心してご利用いただけるよう、「安全・安心」の向上に取り組んでまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、令和3年度に実施した鉄道輸送の安全に関する取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の状況や設備投資等について報告するために作成したものです。本報告書をご一読いただき、忌憚のないご意見やご感想をいただければ幸いに存じます。



長野電鉄株式会社  
取締役社長 笠原 甲一

● A特急停車駅

● B特急停車駅

### 長野電鉄路線図



## 2 輸送の安全に関する基本指針

当社は、平成 18 年に制定した「鉄道安全管理規程」に合わせて、経営の基盤となる安全方針、安全行動規範を定めました。

### 安全方針

お客さまの安全の確保は輸送の生命であり、すべてに優先する。その安全は従業員一人ひとりが創るもので、規程を遵守し職務を厳正、忠実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、安全確保のため日頃から危険要素の排除に努め、常に安全意識を高く持ち、お客さまの安全、安心確保の責務を誠実に果たし社会に貢献する。

### 安全行動規範

1. 一致協力して輸送の安全の確保に努める。
2. 輸送の安全に関する法令及び規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
3. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑いのある時は最も安全と思われる取り扱いをする。
4. 事故、災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
5. 情報は洩れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
6. 常に輸送の安全とお客さまの安心に問題意識を持ち、継続的な改善に取り組む。

## 3 安全管理体制と安全マネジメント

### 安全管理体制

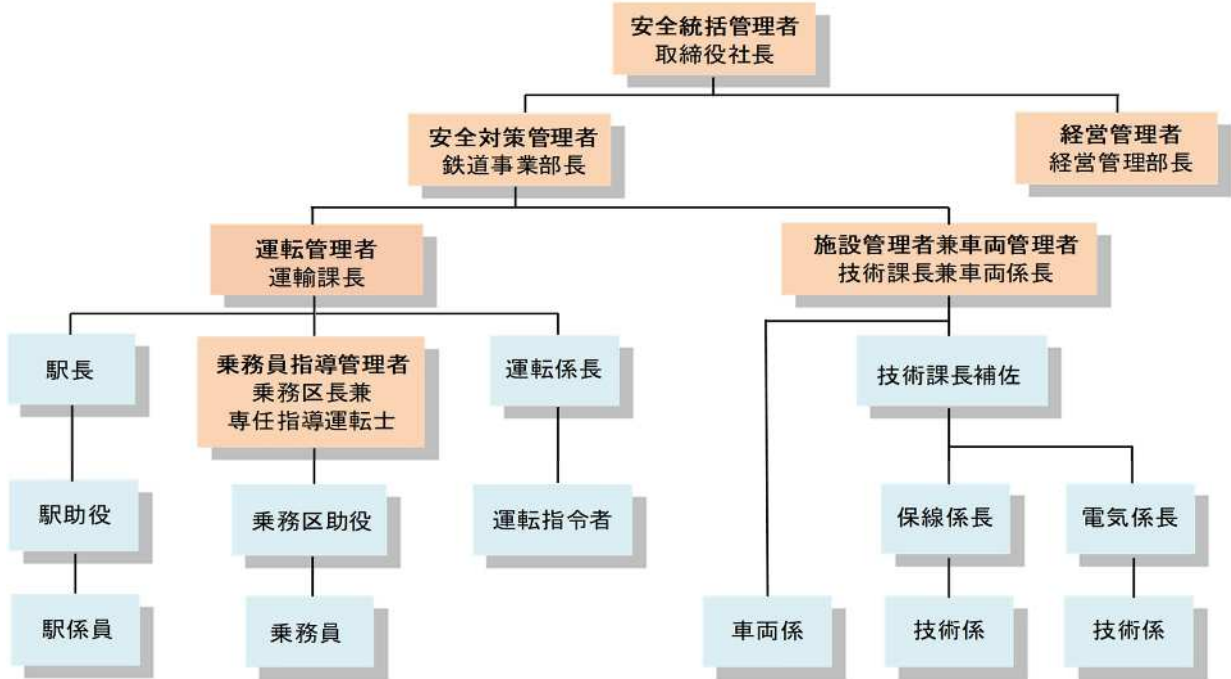
鉄道安全管理規程において、安全統括管理者（社長）をトップとする安全管理体制を構築し、各管理者が安全確保の役割を担い、輸送の安全の向上に努めております。

#### 安全管理体制における管理者の責務

安全統括管理者	…… 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
安全対策管理者	…… 安全統括管理者を補佐し、輸送の安全を確保するために設備、輸送、要員、投資、予算その他必要な計画及び事故防止に関する事項を統括する。
運転管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括し係員の資質の保持に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者	…… 運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
経営管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する。

## 安全管理体制図

(令和3年4月1日改正)



### 安全マネジメント

輸送の安全確保に関する「安全マネジメント実行計画とスケジュール」を策定し、「PDCA」サイクルを回すことにより、安全マネジメントの確実な運用と改善に取り組んでいます。保守会社の長電テクニカルサービス(株)においても同様に取り組む、鉄道全体にわたり安全をマネジメントしています。



### 安全対策委員会の開催

委員会では、安全統括管理者（社長）を委員長として、発生した事故や輸送障害等の検証と再発防止対策、安全投資や設備改善等安全性の向上の取組み、管理者が行う重点施策の進捗状況等の確認を行っています。（令和3年度5回開催）

### 事故防止対策会議の開催

対策会議では、当社鉄道事業部門と鉄道施設の保守業務を委託している長電テクニカルサービス(株)並びにその他関連企業を構成メンバーとし、発生した事故や輸送障害に関する原因と背後要因等を調査・分析・共有し、対応策を講じて再発防止に努めるとともに、台風や大雪等の自然災害では事前に情報を収集し、対応の協議や計画運休などの検討を行っています。また、ヒヤリ・ハット情報や他社事故情報を活用して、事故の未然防止や係員の知識向上を図っています。（令和3年度16回開催）

### 安全監査（内部監査）

安全監査（内部監査）は、安全管理体制が適切に運営され有効に機能していることを監査するもので、安全統括管理者（社長）を含めた管理者及び関連会社に対して実施しています。令和3年度の監査による是正措置として、非常時に対応した規程類の整備、事故・ヒヤリ・ハット情報のレベルアップとヒューマンエラー防止への活用などの提言がありました。更にフォローアップ監査を行い是正の進捗状況を確認することで改善を推進しています。

マネジメントレビューでは、経営トップによる安全管理体制の適切な運営と機能の有効性を確認しています。当該年度に起きた事故や輸送障害の状況、安全目標・安全重点施策の達成度や安全マネジメントの浸透状況、安全管理体制などを検証する中で、改善すべき点を踏まえて次年度の安全目標と安全重点施策を策定します。

#### 4 令和3年度の安全計画への取組み

##### 安全目標

1. 当社による  
責任事故「0件」  
インシデント「0件」
2. 内部要因による輸送障害のうち  
運輸局届出事象「0件」  
届出対象外「前年度より削減」
3. 接遇によるクレーム  
「前年度より削減」

##### 安全重点施策

1. 経営トップをはじめ管理者や職場長・助役等リーダーの積極的な関りにより安全マネジメントを浸透させる。
2. 輸送障害発生時およびヒヤリ・ハット報告の分析方法のレベルアップを図り、有効活用につなげることで、事故の再発防止と接遇の向上を図る。
3. 施設・車両の状態や身体に違和感を覚えたらすぐに止まる、止める勇気を持ち、速やかに報告、現場の確認・点検により最も安全な処置を行う。
4. 安全を優先した効率化への改善と、日々の作業内容の見直しを行う。
5. お客さまの安全・安心および信頼性の向上につなげるため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、うつらない、うつさない努力を継続して行う。

#### 安全マネジメントの浸透及び理解度の向上

経営トップをはじめとする役員や管理者が、安全マネジメントの理解浸透に向けて、従事員一人ひとりの安全意識を高めるため、機会あるごとに現場に足を運び、経営理念、安全方針、安全目標や安全重点施策等を伝えています。また、教育・訓練の機会に合わせて訓示を行うなど安全マネジメントの浸透に努めています。



【教育における社長訓示】

#### 電車乗務員

電車乗務員は隔月に開催する定例教育により、実際に発生した事故・故障への対応方、実際の車両を使用した訓練の実施、お客さまへの接客対応などについてグループワークで話し合うなどサービスの維持・向上に努めています。そのほか、職場長・指導者が定期的に列車へ添乗し、基本動作に沿った業務の実施状況について確認しています。



【隔月開催の定例教育】



【発煙筒を使用した訓練】

## 運転指令・お客様サポートセンター・保安係

運転指令及びサポートセンターでは定期的に合同で安全会議を開催し、事故発生時における対応方や連絡体制の確認、雨期・冬期の自然災害に対する事前準備と確認を行い、常に事故や輸送障害の未然防止に取り組んでいます。また、施設故障や事故などを想定して、机上と実車を使用した訓練を実施し、異常時には迅速で適切な対応ができる準備をしています。



【異常時における机上訓練】



【実車による避難訓練】

## 駅員

令和3年に大手私鉄で発生した列車内の刺傷事件に関して情報や対策を共有したほか、新たに導入したスマホ定期やシステムが変わった遺失物について教育・研修を行いました。



【駅従事員研修】



【実車を使用した異常時対応訓練】

## 技術部門

技術部門では、保守業務を委託している長電テクニカルサービス(株)の工務、電設、車両の各部門と定例的に会議を開催し、施設・車両の保全に努めているほか、9月には同社主催の第6回安全大会に参加し、保守業務の取組状況と従事員の技能に関する習熟度向上について確認しました。

【長電テクニカルサービス(株)安全大会】



## ヒヤリ・ハット情報の活性化

「事故の芽」情報である安全ヒヤリ・ハットと「クレームの芽」である接客ヒヤリ・ハットを収集分析・活用・共有することで、未然の事故防止と接客の向上に取り組んでいます。

安全ヒヤリ・ハット、接客ヒヤリ・ハット情報を収集する。

電車乗務員は毎月1件報告、その他の係員は隔月で1件報告を必須とする。  
安全ヒヤリ・ハット 349件 (前年比 75%)  
接客ヒヤリ・ハット 446件 (前年比 95%)

報告の中から、安全・安心に対する有益・有用な情報を投票により選出し、表彰を行う。

分析による問題点把握と対処、情報共有により事故の未然防止と接客の向上を図る。

コミュニケーションの活性化

毎年、経営トップが開催する「くるま座集会」において、トップ自ら現場の声を直接聞くことで、安全・安心に関する改善策につなげています。また、運輸課及び技術課の各職場において、課題ごとに関係する職場が集まってミーティングを開催し、意見交換や情報共有を行い、ヒューマンエラーの防止に努めています。



【くるま座集会】

交通安全の啓発活動

春と秋の全国交通安全運動に合わせ、沿線の踏切道において「長野県」、「須坂警察署」と合同により踏切事故防止に係る啓発活動を実施し、踏切事故の防止に努めました。また、沿線の小学校に出向いて安全教室を実施し、踏切での事故防止、線路内への進入防止等の啓発活動を行いました。



【踏切道での啓発活動】

従事員の適性や健康の管理

従事員の適性検査

運転関係係員に対して、定期健康診断による身体機能及び視機能、クレペリン検査による作業性機能、それぞれの適性を定期的に確認しています。特に電車乗務員は乗務前に点呼執行者と対面による点呼を行い、健康状態を厳正に把握しています。



アルコール呼気検査



電車乗務員に対して、乗務開始前及び終了後に呼気検査を実施しています。検査により最低値となる0.05mg/l以上の値を検出した場合は、当日の乗務を停止させるなど酒気帯び状態等での乗務の防止を徹底しています。令和3年度は乗務停止につながる事案の発生はありません。



## 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査

電車乗務員に対して、睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査を年1回行い、その兆候について確認しています。

検査の結果、兆候が見られた場合は再検査や、医療機関で治療を行うよう指導をしています。



## サービス介助士資格の取得

様々なお客さまが、駅や列車を安心して利用できるよう常により質の高いサービスに努めています。その一環として駅員と乗務員にはサービス介助士（2級）の取得を促進しています。令和3年度は、新たに3名が資格を取得しました。

## 安全・安心な鉄道施設の更新と管理

### 安全への投資

鉄道事業にかかわる安全のための投資状況

（単位：百万円）

年度	設備投資			修繕費 <sup>※1</sup>			合計 <sup>※2</sup>
	施設・設備	車両	計	施設・設備	車両	計	
令和元年度	346	328	674	231	203	434	1,108
令和2年度	334	195	529	221	214	435	964
令和3年度	54	378	432	230	158	388	820

※1：保守委託費を含む

※2：金額単位未満の処理により合計が一致しない場合があります。

## 安全に関する設備投資

踏切道の事故防止対策

### 第4種<sup>※3</sup>踏切道対策

善光寺下駅～本郷駅間の五所久保踏切道は、人身障害事故が2件発生している第4種の踏切です。踏切通行者に対して踏切の存在と一旦停止・左右確認を促す表示を設置し、安全への対策を促進しました。



【五所久保踏切道】

※3：遮断機・警報機を設置していない踏切です。

### 車両の保守

須坂車両工場では、車両を適正な状態に保つため、日常的な点検・修繕に加え、定期的に車両を分解して検査する重要部検査・全般検査を行っています。多種多様な車両に対応できるよう、知識の習得や技術力の向上に努めています。



【台車の取り外し作業】



【台車組み立て作業】

### 車両の更新

令和元年度から導入してきた 3000 系車両（元東京地下鉄日比谷線 03 系）は、令和 3 年度の 2 編成を最後に全 5 編成が揃いました。新しい車両になったことで従来よりも安全性が向上したほか、軽量なアルミ車体と省電力モーターのため環境にやさしい車両です。製造から 60 年近く使用した 3500 系車両はこれをもって引退します。



【車両の搬入】



【3500 系と 3000 系】

### 列車無線の更新

車両に搭載する列車無線は、平成 30 年度から年次計画で更新しており、令和 3 年度は 8500 系 6 編成に取り付けました。各列車と運転指令の連絡が鮮明で確実になったほか、運転指令では無線を発信した列車の位置情報を把握できるようになりました。



【更新した列車無線】

信濃吉田駅～朝陽駅間トオリ線更新

列車に電力を送る電線（トオリ線）を定期的に更新しています。摩耗などにより断線した場合は長時間にわたり運休となります。令和3年度は、信濃吉田駅～朝陽駅間のトオリ線を更新して、列車安全運行の向上を図りました。



【トオリ線交換作業】

市役所前駅 非常用発電機の更新

地下駅において火災などより停電が発生した場合に、防火シャッターや消火栓ポンプ等の防災設備へ電気を供給するための非常用発電設備を更新しました。今後も、計画的に機器設備の更新を進め、安全性の向上を図ります。



【市役所前駅 非常用発電設備】

5 安全目標の達成状況

当社の責任による鉄道運転事故及びインシデント<sup>※4</sup>について、鉄道運転事故 24 年 4 ヶ月、インシデント 3 年 1 ヶ月の間に発生はありません。

※4：インシデントとは、鉄道事故等が発生するおそれがある事態を指します。

鉄道運転事故等<sup>※5</sup>の発生状況

鉄道運転事故が 1 件、輸送障害が 5 件発生しました。

うち、内部要因により、列車の運休や 30 分以上の遅れが発生した輸送障害が 3 件発生し、お客さまに大変ご迷惑をおかけしました。

	当社係員が原因	当社車両が原因	当社施設が原因	第三者が原因	その他が原因	計
鉄道運転事故 (人身傷害事故)	0	0	0	1	0	1
輸送障害	0	2	1	2	0	5

※5：鉄道運転事故等の種類につきましては、国土交通省のホームページに用語の解説がございますのでご覧ください。 <http://www.mlit.go.jp/tetudo/anzen/anzenjouho/anzen08.pdf>

## 当社車両が原因となった輸送障害 1

### 状況

令和4年1月1日(土)5時55分頃、信州中野駅において列車の過電流により中野変電所の安全装置が働き停電しました。車両が故障し運行できないため、別の車両を手配しました。

### 影響

全線で4本の運休、19本の遅延(最大21分)が発生し、約250名のお客さまに影響がでました。

### 原因・対策

モーターのリード線が冬季特有の雪解け水を通じて短絡し、過電流が発生しました。今後は、確実な目視検査を行います。

## 当社車両が原因となった輸送障害 2

### 状況

令和4年1月2日(日)6時05分頃、信州中野駅において寒冷に伴うブレーキの凍結により運行ができなくなりました。

### 影響

信州中野駅～湯田中駅間で2本の運休が発生し、約170名のお客さまに影響がでました。

### 原因・対策

ブレーキ装置内の水が凍結し、装置内に残った空気によりブレーキが緩まなかったことが原因です。今後は、冬期前に事前対策を行います。

## 当社施設が原因となった輸送障害

### 状況

令和4年9月28日(火)6時59分頃、村山駅付近において停電が発生したため、村山駅の出発信号機が安全のため「赤(停止現示)」となりました。

### 影響

全線19本運休、15本の遅延(最大134分)が発生し、朝のラッシュ帯と重なり約4,200名のお客さまに影響がでました。

### 原因・対策

信号などに電気を送る電線と屋外用電源スイッチとの付け根部分が外的要因による衝撃を受け切断しました。高強度の部品に交換し、他の箇所は異常のないことを確認しました。

## 第三者が原因となった鉄道運転事故

### 踏切障害事故

#### 事故

令和3年7月26日16時28分頃、桜沢駅～延徳駅間の堂前踏切道(第4種:警報機・遮断機がない踏切)で、自転車に乗って踏切道を渡る小学生が踏切内で転倒し、列車と自転車が衝突しました。通過直前に小学生は踏切外に退避したため、怪我などなく無事でした。須坂駅～信州中野駅間で5本の運休と全線で遅延14本(最大62分)が発生し、約1,300名のお客さまに影響がでました。

## 第三者が原因による輸送障害

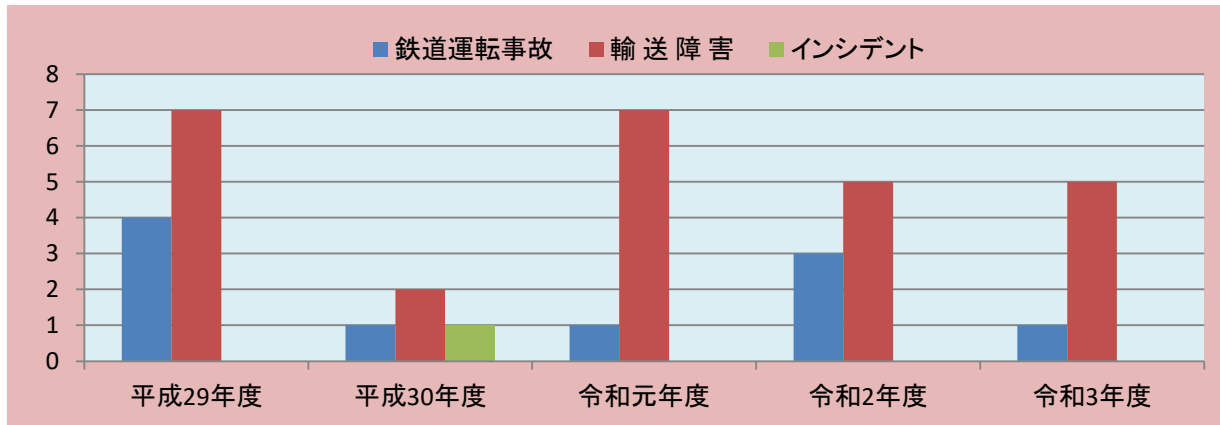
#### 障害1

令和3年4月22日9時52分頃、桜沢駅～延徳駅間の線路近くで火災が発生し、消火作業が終わるまで列車の運行を見合わせ、信州中野駅～湯田中駅間で2本の運休と全線で遅延15本(最大63分)が発生し、約400名のお客さまに影響がでました。線路近くの畑で持ち主がもみ殻を燃やしていた火が強風で延焼したことが原因です。

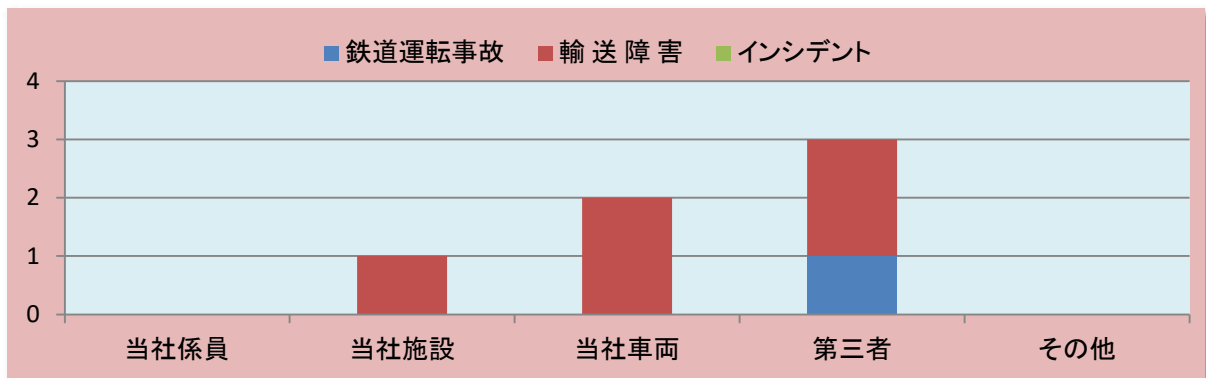
## 障害 2

令和3年7月4日14時46分頃、須坂駅～北須坂駅間で乗用車が道路のフェンスに衝突し、当社の線路敷地内に入り停止しました。安全確認が取れるまで列車の運行を見合わせ、全線で遅延10本（最大35分）が発生し、約250名のお客さまに影響がでました。乗用車運転手の前方不注意が原因です。

### 最近5年間に発生した鉄道運転事故件数及び輸送障害件数の推移



### 令和3年度に発生した事故等の原因別件数



### 運転士による運転取扱誤り

運転士のヒューマンエラーによる運転取扱誤りが1件発生し、お客さまにご迷惑とご心配をおかけしました。インシデントに発展する恐れのある運転取扱誤りであったため、原因の究明、施設の改修などを行い、再発防止を図りました。

### 信号冒進

#### 状況

令和3年5月17日（月）19時15分頃、須坂駅において車両の入換作業を行う際、運転指令員は間違った信号操作に気付かず、運転士は入換信号機が停止信号のところ見誤り車両を進行させました。

#### 原因と対策

運転指令員の操作ミスと運転士の前方確認不足、さらにはお互い間違った取扱いはしていないとの思い込みが重なったことに起因しています。運転士には、再教育と列車添乗による指導を行い、運転指令員には指差確認喚呼の再徹底、複数チェックを周知しました。また、設備面では須坂駅構内の入換信号機が停止信号の場合に出発しても、自動的に列車が停止するよう改修するとともに、運転士が見誤った入換信号機を移設しました。

## 列車妨害の発生状況

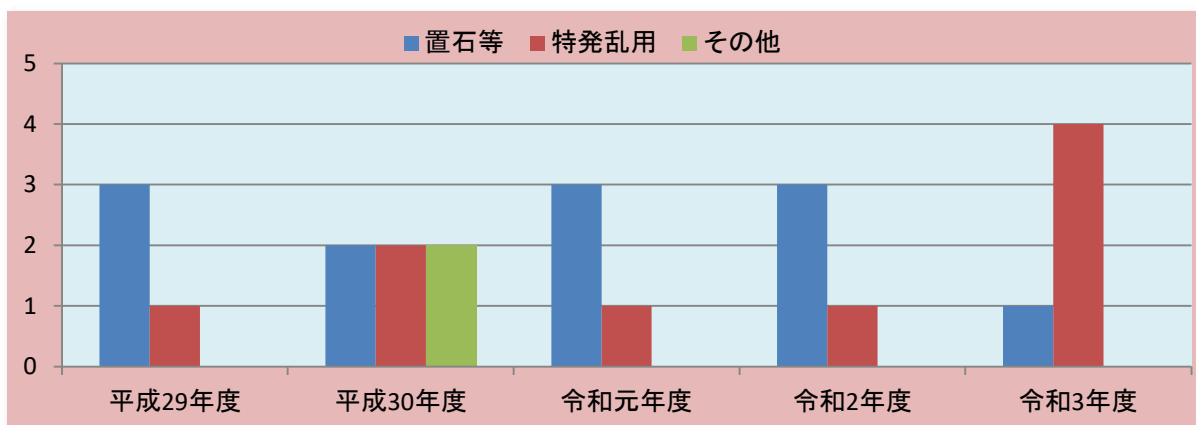
※このような行為があった場合は、警察へ通報し現場検証を行っています。

置石 1件 中野松川駅～信濃竹原駅間、とよつや踏切で故意に石が置かれ、列車が緊急停止しました。

特発<sup>※7</sup>乱用 4件 4件のうち3件は列車が停止し、遅れが発生しました。小学生が、非常報知ボタンを押すと踏切が上がると思い込み、列車を止めてしまったという事象も発生していますので、弊社では沿線小学校へ出向き、踏切の渡り方などの安全教室を実施しております。

※7：特発とは特殊信号発光機のことです。踏切に異常があった場合センサー又は非常報知ボタンにより、発光信号が点灯し列車へ踏切の異常を知らせる信号です。

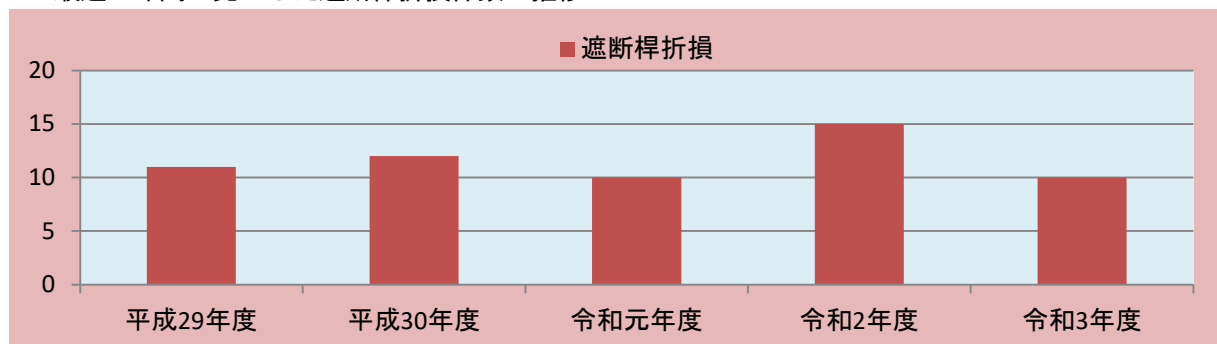
最近5年間に発生した列車妨害件数の推移



## 遮断桿折損の発生状況

遮断し始めた踏切に自動車等が強引に進入した結果、遮断桿を折損した事件が10件発生し、列車が緊急停止しています。このような場合は、警察へ連絡し現場検証を実施しています。

最近5年間に発生した遮断桿折損件数の推移



## 行政指導

令和3年度における行政指導はありませんでした。

## 6 お客様の快適な輸送へ向けた取組み

### 新型コロナウイルス感染症対策

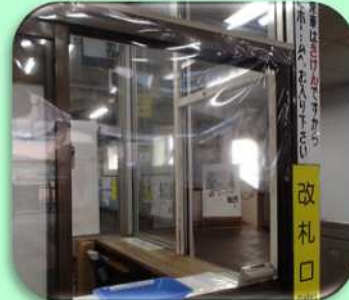
当社では、「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、駅員、電車乗務員などのマスクの着用、定期的なアルコール消毒の実施、車内・待合室の換気など、電車内や駅構内で感染防止の取組みを実施しております。

お客様におかれましても、感染拡大防止の取組みにご理解をいただくとともに、引き続きご協力をお願い申し上げます。

### 各駅における感染防止対策



【券売機などの施設・設備のアルコール消毒を実施】



【飛沫防止スクリーンの設置】

### 車内における感染防止対策



【座席、つり革、手すりなどの消毒を実施】



【窓開け換気の実施】

### サービス向上への取組み

#### お客様サポートセンターの新設

お客様サポートセンターを新設し、一般電話や無人駅に設置したインターホンからの問い合わせにワンストップで対応することが可能になりました。また、運転指令と同じフロアにあるため、列車の運行状況や列車の遅延など適宜迅速な情報提供ができるようになりました。



【各駅の集中管理を実施】



【無人駅のインターホン】

## 7 地域に密着した親しみやすい駅を目指して

### 一駅一花運動

当社では地域の皆さまとともに駅前や駅構内の植栽活動を行っています。令和3年度は柳原駅において柳原地区「アヤメの会」の皆さまと一緒に、一駅一花運動をおこないました。これからも地域の皆さまとの活動を通じて相互の理解を深めるよう努めてまいります。



【アヤメの会の皆さまと花壇整備】



【きれいなアヤメが咲きました】

## 8 お客さま・沿線の皆さまへのお願い

### 警報機・遮断機がない踏切での安全確認

弊社には、踏切に警報機や遮断機がない「第4種踏切」が36カ所あります。その踏切で死亡事故が発生した場合、国土交通省の運輸安全委員会による事故調査が行われるため、長時間にわたり列車の運行を見合わせる場合があります。利用者をはじめ多くの皆さまにご迷惑をおかけすることにつながります。令和3年度は自転車に乗っていた小学生が踏切内で転倒し、列車と自転車が衝突する事故が発生しました。悲惨な踏切事故をなくすために、踏切手前では必ず一旦停止し、列車が来ないことを確認してから横断して下さい。

### ホーム上の安全行動

ホーム上を走ったり、下を覗きこむといった行為は、ホームからの転落や列車との接触の恐れがあり大変危険です。列車をお待ちの際はホームの端から離れてお待ちください。また、歩きながらのスマホ等携帯端末のご使用は、転倒・転落事故、列車や他のお客さまとの接触事故などにつながります。絶対にお止めください。

ホームの下へ物を落とされた場合は必ず駅員、乗務員又はサポートセンターに伝え、自ら線路に降りることは絶対にお止めください。

### 声かけ・サポートのお願い

お客さまが安全に、かつ安心して列車や駅施設等をご利用いただくために、視覚障がいをお持ちのお客さま又はお困りのお客さまを見かけたとき、弊社従業員による「声かけ・サポート」を行っております。ご利用になられるお客さまにおかれましても、お困りのお客さまを見かけましたら「声かけ・サポート」のご協力をお願いいたします。



### 列車妨害などの危険な行為

列車の運行を妨害する行為は、列車往来危険罪、器物損壊罪などの犯罪行為となり罰せられます。また、脱線や急停車によるお客さまの怪我、車両の損傷、全線の列車運行に影響を及ぼします。令和3年度は、踏切の非常報知ボタン乱用が4件、置石が1件発生しました。このような行為を見かけたときは、サポートセンターまたは警察にご連絡をお願いいたします。

### 列車の運行を妨害する行為

- ①線路への置石や物の放置
- ②列車への投石
- ③踏切の非常報知ボタンの乱用
- ④踏切遮断桿の折損
- ⑤線路内への進入 など

### 線路に接近しての作業

沿線住民の皆さまが線路付近で草刈や剪定作業をする際に、うっかり線路内に入ることがあります。列車と接触事故につながる危険があり、たとえ線路に入らなくても近くで作業をしているときは、運転士が危険を感じて列車を停止させることがあります。また、電車線に触れると感電により死に至る恐れがあります。線路に接近しての作業は、事前に作業箇所や作業内容等をサポートセンターに連絡し、留意点を確認してから作業を開始してください。

### 農業資材等の飛散防止

台風の接近や異常気象に伴う突風などにより、沿線の農地や住宅からビニールシートをはじめとする農業用の資材等が線路や電線に飛散し、列車が停止する事象が令和3年度は3件発生しています。運転の見合わせによる列車の遅れ、車両又は施設故障等へつながる場合がありますので、資材等は飛散しないよう管理をお願いいたします。

### 安全確保のための保守作業

鉄道の安全を支えていくうえで、日常のメンテナンスは不可欠であり、主に列車の運行がない夜間に作業を行います。沿線の皆さまには、騒音や夜間照明によりご迷惑をおかけいたしますが、鉄道の安全な運行に欠かせない作業ですので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、列車の運行終了後に作業用車両が踏切を通過する場合があります。列車の運行がない夜間においても踏切での安全確認をお願いいたします。



【夜間のレール交換作業】

## 9 お客様からのご意見の募集

安全報告書や、当社の安全への取組みに対するご意見・ご要望につきましては、下記までお寄せください。

〒380-0833 長野市権堂町 2201 番地  
長野電鉄株式会社 お問い合わせ窓口  
本社代表 TEL 026-232-8121 FAX 026-232-8125  
お客様サポートセンター TEL 026-248-6000 FAX 026-248-6111  
(月～金曜日 9:00～17:30 年末年始を除く)  
お問い合わせメールフォームはこちらから

長野電鉄

検索

